

伊藤病院 看護職員の負担軽減計画

令和4年(2022)4月～令和5年(2023)3月

分野	現状・問題点	目標	計画	達成度チェック		備考
				R4年4月	R5年3月	
看護部	・勤務環境の整備が不十分	・勤務環境の整備を継続して行う	・超過勤務を行わない業務配分 業務配分を継続。係、委員会業務が適切に行えるよう調整	△		
	・看護補助者の業務が増加	・看護補助者との業務分担の推進	・有給休暇取得を進める 年間5日間以上の取得を目指し勤務計画を立てる	△		
	・ベテラン職員の退職 ・人材確保が困難	・離職の防止、人材確保 退職予定による欠員補充と強化	・短時間正規雇用職員の活用 時短勤務者と常勤者の調整を推進し継続する ・看護補助者との業務分担を検討、推進を継続する 業務内容の検討。入浴、食事介助、移送、他を安全に行う CSセットの準備と補充。オムツなど身の回り品の確認 ・看護補助者の人数維持	○ △ △ △		
			・夜勤専従勤務者の確保を継続する:常時2名 ・定年後の嘱託職員の増加に伴い常勤看護師の確保	× ×		
看護業務	・時間内に指示受けが完了しない ・診療補助の事務的業務 ・退院調整が不十分	・電子カルテシステムの活用を継続 ・診療情報管理士による診療補助業務の分担 ・入退院支援部門との役割分担を進め	・予め注射や内服など指示切れの情報を医師へ提供する 時間外の指示受けが必要最小となるよう調整を継続 定期処方切れが日曜、月曜にならないよう調整する ・診療情報管理士による電子カルテ入力の継続 ・退院予定者の必要書類の作成や関連施設との連携推進 情報共有しサマリーなど早めの準備で支援を円滑に行う	△ △ ○ △		
薬剤管理	・自己管理困難で1回配薬の患者が増加 ・中止、休薬などの再調剤 ・注射薬の準備が煩雑 ・持参薬の内容が把握し難い	・服薬状況に応じて分包、粉状への依頼 ・中止、休薬など再調剤の依頼を継続 ・翌日分の注射薬を個人別にわかりやすくする ・持参薬管理	・別包化を依頼し服薬準備を軽減する ・中止、休薬などを薬剤科で再調剤する ・連休など数日分の払い出し注射薬の確認作業を簡素化する ・全ての持参薬の薬剤鑑別を依頼し鑑別書を受ける ・残薬チェックの薬剤部へ依頼を検討する	△ △ △		
栄養部	・栄養管理の実施 ・嗜好調査の継続	・病棟訪問にて患者の情報を共有する ・個別の栄養指導による患者、家族教育	・咀嚼、嚥下能力に応じた食事形態への変更を継続 ・必要に応じて食器の変更も依頼する ・栄養相談、指導の実施を継続する ・電子カルテを利用し指導内容などの情報共有を図る	○ △		
リハビリ	・ADL低下、要介助状態の患者の増加 ・摂食嚥下機能の低下	・活動性向上 ・介護量軽減 ・入院によるADLの低下を防ぐ ・活動性向上 前年度より継続する	・機能低下を防ぐ継続的リハビリの実施 ・実用性の高いリハビリの実施を継続し情報共有を推進 リハビリカンフルエンスへの参加 ・摂食嚥下機能の低下をできるだけ防ぐ ポジショニング、適切な食器や箸スプーンの選択などを協同して行う。食事形態の検討。	○ ○ ○		